



協体さあふじ

「藤沢市体育協会広報」第6号

発行日 昭和62年6月30日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内

地域に密着した指導者づくり

藤沢市教育委員長
藤沢市スポーツ少年団本部長 古谷正一

人間の幸福とは、健康な心と身体でたくましい活力に満ちた生活を営み人と人とのふれあいを大切に互いに協力しあう社会で自分の能力や個性を十分に発揮できることではないでしょうか。

近年における科学技術の進歩、物質文明の発達にめざましいものがあり、ボタンを押せばすべてが万能、私たちの社会に大きな変化をもたらし、これらにより私たちの生活も急激な転換をみせています。

このことは、地域社会の中にも多くの変化をみせ人間らしさや、うるおいをなくしていき地域社会における豊かな人間関係や、連体性が失われつつある現代社会ではないでしょうか。

昔からいわれるように「健全なる心は健全なる身体に宿る」といわれ、いまや心の健康こそ大事な時代を迎えているといえます。また、今日の社会問題に対処するため、その最も効果的な生活内容として、地域スポーツを新しく見直し、スポーツの持つその社会的機能が多くの人に理解

され、人々の生活の中に健全に育とうとする機運が高まっています。このような社会的動向の中で「スポーツ少年団」は、次代を担う青少年期における人間の人格形成を主眼に、次のような綱領を定め育成活動を進めています。

一、わたくしたちは、健康なからだを心と心を養い、次代を担うりっぱな人間になります。

一、わたくしたちは、ルールを守り他人に迷惑をかけず進んで奉仕し、りっぱな社会人になります。

一、わたくしたちは、スポーツによって、限りなく伸びる自分の力を作り出すために努力します。

一、わたくしたちは、世界の友と力をあわせ、りっぱな世界をつくらします。

心身ともに発育期にある少年たちにとって、スポーツを行うことは、スポーツのもつ本質的意義が、人間形成をしてゆく源泉となるものです。将来に向かってこれから伸びてゆくとする少年たちはどんな環境にあっても自分を見失わず力強く豊かに

生きぬく力を持つことが必要でありそれを養う学習の機会を与えなければなりません。

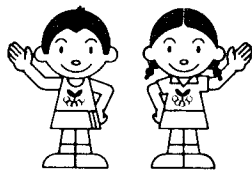
その力を少年たちが自ら育てるための新しい場は、少年たちの生活と結びついた地域社会であり、少年たちの集団活動による社会活動の場以外にありません。そして、スポーツこそ少年たちが自らの力を養う原動力で、そこにスポーツ少年団の存在意義があるのです。

本市のスポーツ少年団も、少年団綱領を基本に、サッカー・野球・バレーボール・バスケットボール・ラグビー・柔剣道・パドミントン・合気道・水泳の種目で179単位団5051名の団員数で組織され、県下においても1・2位の規模を誇る組織ですが、二つの大きな課題をかかえています。そのひとつは、指導者の問題で、昭和65年より実施されます日本スポーツ少年団の登録資格要件である単位団に認定指導員設置が義務づけられ、そのための適切な機会が設けられ、指導者の育成強化が図られるわけですが、本市の現状は、単位団の多くが小学校教諭による奉仕活動に負うところが大きく、地域（社会人）の指導者はごく少数のため、単位団の組織構成の大半は、学校単位、在籍の先生方が主体であり、転動による後継者の問題、最悪の場合は団組

織の解散までに及びかねません。このような問題を解決するためには地域と密着した指導者づくりが最も望ましい姿ではないかと考えております。

もうひとつの問題は、組織体系上の問題で、日本スポーツ少年団、日本体育協会の傘下で活動を展開していません。地域スポーツ少年団も理想的には地域体育協会に所属し活動することが、創設の趣旨に添うことになるわけですが、地域スポーツ少年団も地域の特性によって誕生した経緯もあり、その経過も大事にしていかなければなりません。今後は中央団体と同様の組織整備を計り、指導者の問題も含め地域性の体系化を進めるよう検討してゆかなければならないと考えており、このような現状における諸問題の解決と、少年への環境整備をはかるため、一層の努力を積み重ねる所存ではございますが本市・スポーツ界の諸団体のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

藤沢市スポーツ少年団



種目協会の横顔

陸上競技協会

大正十年代から昭和のはじめにかけて、県の陸上競技会は、藤沢を会場として開催された大会が多かったようです。その中で白旗神社裏の境川右岸にあった藤沢競馬場で行われたこともありました。また、鵜沼小学校のグラウンドでは、大会当日の朝隣の畑の芋を掘りおこして走路を延長し、そこからスタートをしたとも聞いております。中学生の大会は、昭和十年頃になりますと、湘南中学（現湘南高校）の校庭の二百米トラックで戦争中昭和十八年まで行われました。駅伝や長距離も遊行寺をスタート又はゴールとして行われたと書いております。

第二次世界大戦の空白の後、昭和

二十年秋に、佐々木長治氏（故人・藤沢陸協・藤沢市体育連盟会長三代目会長・神奈川陸協二代目会長）・関水正文氏（藤沢陸協四代目会長・藤沢市体育協会顧問）・鈴木春雄氏（故人）・渋谷松夫氏（西俣野体育協会会長）等と話し合っており、杉本・後藤・永田・広田・西島等の選手を集め、湘南中学校の校庭で練習が始まりました。昭和二十一年になりますと、佐々木氏を中心に藤沢のメンバーが主体になり、県内の若干の人数が加わって、神奈川陸協を再建し、同時に藤沢市陸上競技協会が発足しました。そして、月に第一回の藤沢市陸上競技選手権大会が湘南中学校の校庭で開かれ、九月に行われた第一回都市対抗陸上競技大会に優勝しました。また第一回三浦半島一周駅伝にも西島・吉原・田代・後藤・広田のメンバーで優勝し、後日優勝カップを貰うため、米海軍横須賀基地まで、役員はモーニング、選手は背広という服装でカップ受賞に行きました。

昭和二十三年、佐々木・関水両氏等は、当時の伊沢市長を説得し、藤沢ゴルフ場（第二次大戦中は藤沢海軍航空隊）跡の一角に、一周四百米の公認陸上競技場を建設し、第三回東口杯全国青年対抗陸上競技大会を誘致し、神奈川県チームが優勝して

コケラ落しに華を添えました。これが現在の県立体育センター陸上競技場で、藤沢市の陸上選手はもとより県内の選手は皆ここで育っている訳です。

その後、藤沢陸協では選手強化の目標に、月例マラソン大会を実施、途中一時中止しましたが昭和四十年に再開し、現在も実施していますが最近では道路事情が悪くグラウンドで実施し、道路が使えないのが残念に思われます。

さて、藤沢陸協の現況は、県総合体育大会ではいつも八位以内に入り安定した成績をのこしているが、都市対抗駅伝は、一時の低迷からさめてようやく八位以内に入ってきて、選手強化がはかられつつある状況です。

又、本年一月に実施された全国女子都道府県対抗駅伝で神奈川県チームが優勝しましたが、そのメンバーに島元美穂子さん（片瀬中出身）が全国的女子の長距離ランナーとして活躍されていることも、紹介いたします。

このように、藤沢陸協も、佐々木・関水・西島氏のような立派な先輩の指導のもとに、藤田会長を中心に会員一同、一生懸命がんばっております。

昭和61年度 藤沢市体育協会事業実績報告書

月 日	事 業 名	月 日	事 業 名
61. 5. 11	第1回理事会	62. 1. 13	第4回理事会
	第1回評議員会	1. 24	昭和61年度スポーツ人の集い
6. 25	第1回常任理事会		藤沢スポーツ賞
7. 24	第2回理事会		中丸初男 橋川美紀 峯田貴宏
8. 7~9	競技協会補助金交付		赤堀隆弘 河合雅世
8. 20	広報紙第3号発行		藤沢商業バレー部
9. 7	藤沢市体力づくり運動推進功労者表彰		武田薬品卓球部
	桜井 浅之 (柔道)		40周年特別功労者表彰
	山本 幸男 (剣道)		76人
	徳島 秀明 (スキー)		全国青年大会バレーチーム表彰
	根本 信良 (空手)	3. 25	第4回常任理事会
	木村 三男 (サッカー)	3. 31	広報紙第5号発行
	工藤 孝二 (射撃)		第41回藤沢市民総合体育大会総参加者数 10,301人
	滝川 一輝 (陸上)		地区対抗競技参加者数 3,479人
	松田 康照 (軟庭)		オープン競技参加者数 6,822人
9. 26	第2回常任理事会		総合部優勝 大道地区
10. 1	藤沢市表彰条例に基づく表彰		2位 滝の沢地区
	本間 暁一 (バレー)		3位 善行地区
	斉藤 恒夫 (陸上)		昭和61年度神奈川県総合体育大会
	佐藤 勝夫 (卓球)		◎一般の部
11. 3	藤沢市教育文化貢献者感謝会		夏季大会
	スキー協会		ソフトボール 軟式庭球 水泳
	森永 秀次郎 (卓球)		秋季大会
	諸節 寛行 (剣道)		陸上 卓球 バasketボール バレーボール
	石井 洋秀 (柔道)		軟式野球 柔道 剣道 サッカー バドミントン
11. 18	第3回常任理事会協会顕彰選考委員会		射撃
11. 30	広報紙第4号発行		冬季大会
12. 1	創立40周年記念「体協要覧」発行		スキー
12. 11	第3回理事会		◎青年の部
			陸上 剣道 弓道 バドミントン バレーボール
			バスケッボール

昭和61年度 藤沢市体育協会収支決算報告書

1. 収入の部

(単位円)

項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増 減	摘 要
体 協 費	10,440,000	0	10,440,000	10,638,001	198,001	
体 協 費	10,440,000	0	10,440,000	10,638,001	198,001	
補助金	2,780,000	0	2,780,000	2,780,000	0	
委託料	6,244,000	0	6,244,000	6,244,000	0	
賛助会費	1,000,000	0	1,000,000	1,093,000	93,000	団体58件 個人171件
負担金	288,000	0	288,000	288,300	300	
繰越金	113,138	0	113,138	113,138	0	/スポーツ人の集い残
雑収入	14,862	0	14,862	119,563	104,701	110,329 預金利子 9,234

2. 支出の部

項 目	予算額	補正・流用額	予算現額	執行済額	執行残額	摘 要
体 協 費	10,440,000	0	10,440,000	10,341,540	98,460	
運 営 費	10,440,000	0	10,440,000	10,341,540	98,460	
事務局費	1,068,000	120,000	1,188,000	1,157,540	30,460	
事業費	8,968,000	△120,000	8,848,000	8,784,000	64,000	
積立金	400,000	0	400,000	400,000	0	積立金合計
予備費	4,000	0	4,000	0	4,000	1,201,833

1. 収入の部	予算額	10,440,000円	決算額	10,638,001円
2. 支出の部		10,440,000円		10,341,540円
3. 差引額			差引残額	296,461円

昭和62年度 藤沢市体育協会事業計画書

月	事業名	月	事業名
4月	理事会・評議員会 市民総体打ち合せ	10月	藤沢市表彰条例に基づく表彰 1 国民体育大会視察 25~30 市民総体 空手 25 国民体育大会秋季大会 25~30
5月	賛助会員募集開始 市民総体予選 ソフトボール 17~6/14 先進都市体育協会視察	11月	常任理事会 広報紙発行 教育文化貢献者感謝会表彰 3
6月	常任理事会 市民総体予選 軟式野球 21~7/19 広報紙発行	12月	理事会 市民総体 ハンドボール 19・20
7月	理事会 市民総体 バasketボール 19・26 弓道 19	63.1月	常任理事会
8月	各協議協会補助金交付 市民総体 サッカー 16~9/12 テニス 16~9/13 バレーボール予選 23 剣道 30 バドミントン 30 射撃 30 山岳 未定 県総合体育大会 9/16 ソフトボール 9.16 軟式庭球 16 水泳 23	2月	理事会 スポーツ人の集い 13 市民総体 スキー 未定 県総体 スキー 下旬 国民体育大会冬季大会 スキー 23~26
9月	常任理事会 体力づくり運動推進功労者表彰 市民総体(本大会) 6 陸上・卓球・軟式庭球・バレーボール バドミントン・軟式野球・ソフトボール 柔道・ラグビー 県総体秋季大会 13・27 国民体育大会夏季大会 20~23	3月	常任理事会 広報紙発行 市民スポーツフェスティバル 13

上記のように事業を計画いたしました。
昨年度にも増して各位の暖かい御協力を戴き、藤沢市体育協会が更に大きく飛躍し、発展出来ますよう、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

昭和62年度 藤沢市体育協会収支予算書

1. 収入の部

項目	予算額
体協費	1,213,000.00
体協費	1,213,000.00
補助金	3,510,000.00
委託料	6,368,000.00
賛助会費	1,000,000.00
負担金	968,000.00
繰越金	269,461.00
雑収入	145,390.00

2. 支出の部

項目	予算額
体協費	1,213,000.00
運営費	1,213,000.00
事務局費	1,598,000.00
事業費	1,012,300.00
積立金	400,000.00
予備費	9,000.00

(単位円)

監事

- 高 大原 大須 服部 設楽 尾崎 岩田 山口 木村 大縫 小間 井上 徳島 熱田 金子 川路 藤田 久木 加藤 桜井 杉山 山田 小泉 青山 関根 西島 柳川 中山
- 明 晴夫 賀光一 忠幸 孝治 樹仙 明光 英勇 光宏 文夫 吉男 秀明 真一 嗣 久男 正辰 善蔵 誠(学識経験者) 浅之 清隆 貢 勝彦 俊夫 智治 一光 賢 二郎
- (剣道) (バスケ) (体操) (サッカー) (ハンドボール) (山岳) (ラグビー) (バドミントン) (ソフト) (空手道) (水泳) (スキー) (バレー) (卓球) (射撃) (野球)

理事

- 常任理事 副理事長 理事長 副会長 会長

昭和62年度新役員のご紹介
新年度の役員が次のように決まりました。